



2023年12月15日

各位

会社名 株式会社プロレド・パートナーズ  
 (コード: 7034 東証プライム)  
 代表者名 代表取締役 佐谷 進  
 問合せ先 執行役員 CFO 上戸 勇樹  
 (TEL. 03-6435-6581)

### 通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年6月14日に公表しました2023年10月期(2022年11月1日~2023年10月31日)の通期業績予想と本日公表の実績値との差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 1. 2023年10月期通期連結業績予想と実績値の差異(2022年11月1日~2023年10月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (単位: 円)
前回発表予想(A)	2,361	△619	-	-	-
実績値(B)	2,715	△372	4,378	818	74.95
増減額(B-A)	353	246	-	-	-
増減率(%)	15.0	-	-	-	-
(参考)前期実績 (2022年10月期)	2,718	△148	△209	△871	△79.78

#### 2. 差異の理由

当社は、2022年12月15日に連結売上高予想のみ公表しておりましたが、当社を取り巻く経営環境やプロサイン BSM 事業の譲渡を踏まえ、2023年6月14日に連結営業利益予想を公表しております。当該開示を行った後も当社を取り巻く経営環境、特に成果報酬型コンサルティングに係る環境は依然として厳しいものでありますが、以下の理由により前回発表予想を上回る結果となりました。

##### ① 売上高

成果報酬型コンサルティングにおいて当社が顧客より受領する報酬は、コンサルティングにより年間で削減されるコストの金額に対して一定の料率を乗じたものを報酬総額とし、当該金額を3年で分割して売上高に計上しております。2022年12月15日の発表数値においては、2022年10月期以前の受注に係る2年目および3年目計上分の売上高について、インフレ進行や電力料金高騰による影響を織り込んでおりました。しかしながら、これらの影響を受けることなく一部売上計上できた案件があること、知見のあるコストマネジメント領域やDX推進領域において固定報酬型コンサルティングの導入が進んだことにより、売上高が増加いたしました。

##### ② 営業利益

売上高の増加並びに継続的なコストの見直しにより、営業利益の赤字幅が縮小いたしました。

③ 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益

2023年6月14日付「営業外収益の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示したとおり、当社グループが出資している投資事業有限責任組合の運用の結果、営業外収益として投資事業組合運用益を計上いたしました。また、投資事業組合運用益から当社グループによる持分ではない部分を非支配株主に帰属する当期純利益として除外いたしました。

以 上